

古河産業 70周年記念式典を開催

安永社長「信頼紡ぎ、100年企業へ」

挨拶する安永社長



古河電工グループの中核商社である古河産業(本社・東京都港区、社長・安永哲郎氏)は26日、東京都渋谷区のセルリアンタワー東急ホテルで創立70周年記念式典を催した。全国の支店や海外拠点を含めた社員や、OB・OGなど関係者約340



人が参集。併せて古河電工の小林敏一社長やUACJの岡田満社長が来賓として出席し、70周年の節目を祝った。また日本サッカー

協会最高顧問で古河産業OBの小倉純二氏による講演も行われた。挨拶に立った安永社長は「70年間の道のりは決して平坦ではなかったが、変革と現状打破の古河産業魂で乗り越えてきた。今後も顧客と先達に感謝しながら、さらに飛躍したい」とコメント。「ス

約340人が参集した。今後も顧客と先達に感謝しながら、さらに飛躍したい」とコメント。「ス

テークホルダーの皆さんをつなぎ信頼関係を紡いで、価値あるサービスを創り出すことで100年企業を目指していきたい」と今後を見据えた。

また古河電工の小林社長は「我々の創業者古河市兵衛氏は顧客と従業員、新技術を大切する姿勢をDNAとして残した。DNAを引き継ぎながら、より誇りを持って働ける企業集団に育てて次世代に繋ぎたい。古河産業はその一翼を担う存在だ」とエールを送った。小倉氏は古河産業時代の思い出やJリーグ設立の経緯などについて講演。乾杯の音頭は古河産業前社長の館野恒雄氏がとった。